

令和7年度 年間指導計画及び具体的な評価の方法	1年 国語科	観点別学習状況 評価の観点	観点番号
		知識・技能	1
		思考・判断・表現	2
		主体的に学習に取り組む態度	3

月	指導事項区分		配 当 時 間	指導内容 主な評価規準（●）	観 点 番 号	具体的な評価の方法
	単元	節				
4月		朝のリレー	1	・詩を読んで想像したことや、好きな言葉や表現を交流する。 ・詩のよさが伝わるように工夫して音読する。 評価基準 ●音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ●音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	1 3	・ワークシート ・単元テスト
	言葉に出会うために	言葉に出会うために 声を届ける 野原はうたう	1	・詩の作者である生き物になったつもりで、情景や心情を想像しながら音読する。 ・詩に表現された語句の意味に注意する。 ・速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを変えて音読する。 ・詩を音読するとき、どんな工夫をするとよいか、「音読をするときには」に続く形で書く。 評価基準 ●音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ●音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	1 3	・ワークシート ・単元テスト
		書き留める 言葉を調べる 続けてみよう	3	・ノートまたはワークシートの書き方、工夫のしかたを理解する。 ・辞典・事典類の種類と特徴を確認し、何を調べるときに役立つかを理解する。 ・「言葉の手帳」を作り、自分に興味がある言葉は印象に残った言葉を書き留め、語彙を増やす。 評価基準 ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ●読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 ●「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ●進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。	1 2 3	・ワークシート
	書写		3	基本になる点画の筆使い(横画、縦画、払いなど基本的な筆使いができたか)	1	作品
	1 学びをひらく	はじまりの風	4	・作品の全体像を捉える。 ・場面の展開に沿って、主人公の心情の変化を捉える。 ・心情の変化を心情曲線を使いながら整理する。 ・整理した内容をもとに話し合い、学習を振り返る。 評価基準 ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ●「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ●場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。	1 2 3	・ワークシート ・単元テスト
5月		春のしおり	1	・春の植物や動物にまつわる言葉や、春の情景を詠んだ俳句や和歌、詩を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 評価基準 ●事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。	2 3	・ワークシート
		情報を聞き取り、要点を伝える	1	・情報を的確に聞き取り、要点を伝える必要がある場面を挙げる。 ・二次元コードの音声聞き、必要な情報をメモに取る。 ・情報を的確に聞き取るためのポイントを確かめる。 ・学習を振り返る。 評価基準 ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ●「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	1 2 3	・ワークシート ・単元テスト

6	言葉に立ち止ま			●集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。		
		音声の仕組みや働き	1	・母音と子音について理解する。 ・音の高さ・強さについて理解する。 評価基準 ●音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ●声の出し方による伝わり方の違いを、試行錯誤しながら確認し、それらを生かして音声の働きや仕組みについて理解を深めようとしている。	1 3	・ワークシート ・単元テスト
		話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする	4	・スピーチの材料を集める。 ・話の構成を考え、練習する。 ・聞き手にわかりやすく伝えるために、話す順序や表現のしかたを工夫する。 ・友達どうしで聞き合ったり、録画を見たりして、互いの改善点を見つける。 ・スピーチの会を開く。 ・順番を決め、スピーチの会を開き、学習を振り返る。 評価基準 ●音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ●「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。 ●「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ●話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	1 2 3	・ワークシート ・授業観察
		漢字 1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう 1	1	・漢字は、左右・上下・外側と内側などの二つの部分を組み立てたものが多いことを理解する。 ・偏旁冠脚など漢字を組み立てている部分について理解する。 ・部首について理解する。 ・漢和辞典を利用して、練習問題に取り組む。 評価基準 ●漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。 ・ノートまたはワークシート	1	
		ダイコンは大きな根？	2	・文章の中心的な部分を捉える。 ・段落の役割について考える。 ・わかりやすく説明するための筆者の工夫について、考えたことを発表する。 評価基準 ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ●「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 ●文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。	1 2 3	・ワークシート ・単元テスト
		ちょっと立ち止まって	3	・文章の構成に着目し、要旨を捉える。 ・文章の構成に着目し、その効果を考える。 ・生活の中で、ものの見方や考え方が広がったと思われる体験や事例を発表する。 評価基準 ●原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ●「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 ●進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	1 2 3	・ワークシート ・単元テスト
		思考のレッスン 1 意見と根拠	1	・意見の根拠を確認することの大切さを理解する。 ・説得力のある根拠について考える。 ・意見と根拠の結び付きを考える。 評価基準 ●原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ●学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。	1 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
6	言葉に立ち止ま	情報を整理して説明しよう	4	・情報を集め、整理する。	1	・ワークシート

月	る	う 発見したことをわかりやすく書く		・選んだ情報をどういう順序で提示するとわかりやすいかを考え、構成を練る。 ・文章にまとめ、交流を通して改善する。 ・学習を振り返る。 評価基準 ●集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。 ●目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明に必要な情報を取捨選択している。 ●集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。	2 3	
		指示する語句と接続する語句	1	・指示する語句について理解する。 ・例を基に、前後の文をつなぐ働きを理解する。また、接続する語句について理解する。 ・例を基に、接続する語句には書き手や話し手の気持ちが反映されることを知る。 評価基準 ●例を基に、指示する語句と接続する語句の種類や働き、使われ方などについて理解している。 ●今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。	1	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
		空の詩 三編 〔書く〕詩の創作教室	2 1	・三つの詩を音読し、詩について、感じたことを交流する。 ・良さを感じた点や、疑問点の観点で、感じたことや考えたことを交流する。 ・詩の情景や表現の効果について話し合う。 ・最も印象に残った詩について発表する。 ・「空の詩 三編」を参考に、表現を工夫して詩を書く。 評価基準 ●自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。 ●読み手の助言から、創作した詩の改善をしようとしている。	1 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
		言葉3 さまざまな表現技法	1	・比喩の特徴を理解する。 ・「反復」「倒置」「体言止め」「省略」「対句」など、表現技法によるリズムの違いや効果について考える。 評価基準 ●比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。	1	・ワークシート ・単元テスト
		比喩で広がる言葉の世界	2	・本文を通読し、文章の中心となる部分を見つけ、要旨を捉える。 ・筆者が、「比喩」をどのように定義しているかを確かめる。 ・筆者が指摘している、比喩の二つの効果を簡潔にまとめる。 ・文章の中心となる部分を見つけ、要旨をまとめる。 ・生活への生かし方を考え、伝え合う。(課題3) 評価基準 ●文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。 ●各段落の役割を理解し、文章の中心となる部分を見つけ、要旨を捉えている。 ●進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている	1 2 3	・ワークシート ・単元テスト
		文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 文法1 言葉の単位	1	・文法の定義を理解する。 ・「言葉の単位」を読み、「文章・談話」「段落」「文」「文節」「単語」の違いとそれぞれの特徴を理解する。 評価基準 ●文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。	1	・ワークシート ・単元テスト
	書写		3	・基本になる点画の筆使いを理解する。 評価基準 ●横画、縦画、払いなど基本的な筆使いができています。	1	作品
7月	言葉に立ち止まる	語彙を豊かに 心情を表す言葉	1	・心情を的確に表現するためには、語句の量を増やす必要があることを理解する。 ・印象に残った出来事について、そのときの気持ちをひと言で表す。 ・気持ちを表す言葉を集め、気持ちにぴったりの言葉を選ぶ。 ・集めた言葉の中から気持ちを的確に表現できる言葉を選び、文を書き換える。 評価基準 ●言葉を集め、似た意味の言葉の語感の違いに注意しながら、伝えたいことに合う的確な言葉を探している。 ●今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。	1 3	・ワークシート

	情報×SDGs	情報収集の達人になろう コラム 著作権について 知ろう	3	・ 図書館やウェブサイトで情報を集め、それぞれの場合での情報の集め方を理解する。 ・ 自分が決めたテーマについて、どのように調べるのがよいかを考え、実際に情報を集める。 ・ 資料から正しく情報を読み取る方法と、必要な情報を記録する方法を理解する。 ・ 読み取った情報を適切に引用しながら、持続可能な社会の実現に向けて、自分がどんな行動をするかをまとめる。 ・ 著作権について知る。 評価基準 ●原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ●本やインターネットで調べた情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方を理解している。 ●調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。 ●読み取った情報を基に、自分の考えを書いている。 ●引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、今までの学習を生かして収集した情報を基に考えたことを書こうとしている。	1 2 3	・ワークシート
	いつも本はそばに	読書を楽しむ	2	・ 「ポップ作り」、「読書会」、「読書記録」の中から、夏休みに行う活動を選ぶ。 ・ 必要な情報を整理して、本の魅力が伝わるように紹介する。 ・ 課題本を決め、各自で読んで感想などをメモしておく。その後、話し合いたいテーマなどを決めて、読書会を開く。 評価基準 ●さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。 ●読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。	1 2 3	・ワークシート ・単元テスト
		本の中の中学生 あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ 読書案内 本の世界を広げよう コラム 本との出会い	1	・ 考えていることや悩んでいることが似ている登場人物、友達になれそうな登場人物はいないか、探しながら読む。 ・ 気に入った作品とその理由を友達と共有する。 評価基準 ●読書が、知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。 ●文章を読み、理解したことを基に、自分の考えを形成している。 ●進んで文章を読み、理解したことに基づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	1 2 3	・ワークシート
	書写		3	・ 楷書の筆順と字形を理解する。 評価基準 ●正しい筆順で字形を整えて書けている。	1	作品
8 ・ 9 月		大人になれなかった弟たちに……	4	・ 描写に着目して登場人物の心情を捉える。 ・ 題名のもつ意味について考える。 ・ 表記に込められた、作者の意図を考える。 ・ 思いを伝える朗読会をする。 評価基準 ●読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 ●「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ●登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。	1 2 3	・ワークシート ・単元テスト
		星の花が降るころに	5	・ 「私」を中心に作品の内容を押さえる。 ・ 場面や描写を結び付けて読む。 ・ 提示された場面や描写を比べることで、どんなことが読み取れるか、話し合う。 ・ 印象に残った場面や描写を語り合う。 評価基準 ●比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。 ●「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 ●進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	1 2 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
		項目を立てて書こう 案内文を書く	3	・ 案内文の書き方を確かめ、案内する事柄と相手を決め、情報を整理する。 ・ 案内文を作成する。	1 2 3	・ワークシート

				評価基準 ●比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使っている。 ●「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。 ●集めた材料を積極的に整理し，学習課題に沿って案内文を書こうとしている。		
		〔推敲〕読み手の立場に立つ	1	・読み手の立場に立って，案内文を推敲する。 ・書きかえた案内文について，伝えようとする内容が正確に，わかりやすく書き表されているか，友達と話し合う。 評価基準 ●事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ●「書くこと」において，読み手の立場に立って，表記や語句の用法，叙述のしかたなどを確かめて，文章を整えている。 ●粘り強く文章を整え，学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。	1 2 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
		言葉2 方言と共通語	1	・方言と共通語の違いを理解する。 ・方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について理解する。 評価基準 ●共通語と方言の果たす役割について理解している。 ●今までの学習を生かして，積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。	1 3	・ワークシート
	書写		3	・ひらがなを書く。 評価基準 ●いろは歌を通してひらがなの字形が書けたか)	1	作品
	10月	聞き上手になろう 質問で話を引き出す	2	・聞き方や質問のしかたを学ぶ。 ・二人一組で対話の練習をする。 ・学習を振り返る。 評価基準 ●話す速度や声の大きさ、言葉の調子や間の取り方などに注意しながら話している。 ●話し手の話に耳を傾け、質問のしかたを工夫しながら対話をし、話を十分に引き出している。 ●進んで質問しながら話の内容を捉え、学習したことを生かして話を引き出そうとしている。	1 2 3	・ワークシート
		漢字2 漢字の音訓	1	・「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。 ・漢和辞典を利用して，練習問題に取り組む。 評価基準 ●小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ●学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	1 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
		「言葉」をもつ鳥，シジュウカラ	4	・文章の構成と内容を捉える。 ・論の展開に着目し，その効果を考える。 ・結論に説得力をもたせるために，どのような工夫をしているか，本文の記述や図表などを根拠として，自分の考えを文章にまとめる。 評価基準 ●原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ●「読むこと」において，文章の構成や展開について，根拠を明確にして考えている。 ●文章の構成や展開について粘り強く考え，学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。	1 2 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
		思考のレッスン 原因と結果	1	・原因と結果を抜き出し，どのようにつながっているかを整理する。 ・原因と結果のつながりに無理がある例を確かめ，パターン別に整理する。 評価基準 ●原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	1 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト

				●今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。		
		根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	5	・課題を決め、調査を行う。 ・調査結果を整理し、構成を考える。 ・図表などを引用してレポートを作成する。 ・レポートを読み、評価し合う。 評価基準 ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ●「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ●「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ●文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。	1 2 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
	書写			・楷書の筆順と字形を理解する。 評価基準 ●正しい筆順で字形を整えて書けている。	1	作品
11月		漢字に親しもう 3	1	・新出漢字を確認する。 ・練習問題に取り組む。 評価基準 ●小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ●学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	1 3	・ワークシート ・単元テスト
		文法への扉 2 文の組み立て	2	・言葉の関係について考える。 ・「文の組み立て」を読み、「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」を理解する。 評価基準 ●単語の類別について理解している。 ●単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。	1 3	・ワークシート ・単元テスト
		聴きひたる 大阿蘇	1	・朗読音声を聴き、言葉の響きやリズムを味わう。 ・繰り返しの表現や、繰り返しながら変化していく表現などに注目する。 ・詩の朗読を聞いて感じたことや考えたことを交流する。 評価基準 ●詩の朗読を聞いて、それぞれの言葉がどのように使われているかを考えている。	1	・ワークシート
	いにしえの心に 触れる	音読を楽しもう いろは歌 古典の世界	1	・「いろは歌」を音読する。 ・3年間の古典学習について見通しをもつ。 評価基準 ●音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 ●古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。 ●古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。	1 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
		蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から	4	・古典の文章について、現代の文章との違いを確かめる。 ・描かれている古典の世界を想像する。 評価基準 ●音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 ●「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ●進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。	1 2 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
		今に生きる言葉	2	・漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しむ。 ・本文を読み、故事成語について理解する。 ・故事成語を使って、体験文を書く。 評価基準 ●音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 ●「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 ●「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	1 2 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト

				●積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。		
12月	7 価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す 〔書く〕根拠を明確にして、意見をまとめよう	4	・筆者の考えを要約する。 ・根拠を明確にして、意見をまとめる。(学習③) 評価基準 ●原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ●「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ●「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 ●「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ●積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。	1 2 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
		原因と結果	1	・例題から原因と結果を抜き出し、どのようにつながっているかを整理する。 ・原因と結果を表す言葉を例文から抜き出す。 ・例題から、原因と結果のつながりに無理がある例を確かめ、パターン別に整理する。 ・「全くの偶然」「逆の因果関係」「疑似相関」について、筋道の上での問題点を指摘する。 ・学習を振り返る 評価基準 ●原因と結果がどうつながっているか整理し、その関係について理解している。 ●今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。	1 3	・ワークシート
		漢字に親しもう 4	1	・新出漢字を確認する。 ・練習問題に取り組む。 評価基準 ●小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ●学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	1 3	・ワークシート ・単元テスト
		〔話し合い（進行）〕 進め方について考えよう	1	・動画を視聴し、「やってみよう」①②に取り組む。 ・話し合うときに効果的な工夫について理解する。 ・学習を振り返る。 ●根拠を述べたり、前の人の意見を受けたりして話すことを理解している。 ●動画を視聴し、話題や展開を捉えながら話し合うための工夫について、自分の考えをまとめている。 ●進んで話題や展開を捉え、学習課題に沿って、話し合いをよりよく進めるために気をつけることについて、考えをまとめようとしている。	1 2 3	・ワークシート
		話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、ものの見方を広げる	4	・話し合いの目的と話題を確認する。 ・自分の意見をまとめ、自分の意見と、そう考える根拠をノートに書き出す。 ・グループで語り合う。 ・録画しながら、話題や展開を捉えて語り合う。 ・付箋を使って整理するなど、話し合いを可視化しながら進める。 ・録画を視聴して話し合いを振り返り、効果的だと感じた発言などを共有する。 評価基準 ●自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。 ●話し合いの話題や展開に沿って、互いの発言を結び付けながら話したり、自分の考えをまとめたりしている。 ●積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見通しをもってグループで話し合いをしようとしている。	1 2 3	・ワークシート
1月	読書に親しむ	考える人になろう 君たちはどう生きるか たのしい制約 読書案内 本の世界を広げよう	1	・文章を読み、筆者のものの見方や考え方を捉える。 ・文章を読んで考えたことをグループで発表し合う。 評価基準 ●読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	1 2 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト

				●「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 ●読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。		
	書写		3	・書き初めを書く。 評価基準 ●楷書、行書、ひらがなを使って書くことができている。	1	作品
	8 自分を見つめる	少年の日の思い出	6	・作品の展開を捉える。 ・「僕」の心情の変化をまとめる。 ・別の人物の視点から文章を書き換える。 評価基準 ●事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ●「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ●「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 ●「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ●文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。	1 2 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
1 月 2 月		漢字に親しもう 5	1	・新出漢字を確認する。 ・練習問題に取り組む。 評価基準 ●小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ●学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	1 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
		文法への扉 3 単語の性質を見つけよう	2	・単語の性質について考える。 ・「単語の分類」を読み、「自立語と付属語」、「活用の有無」、「品詞」、「体言と用言」について理解する。 評価基準 ●単語の類別について理解している。 ●今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。	1 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
		二十歳になった日	4	・作品を通読し、随筆の内容を捉える。 ・心情を表す語句や表現などに着目し、筆者が「二十歳になった日」に感じたことを挙げる。 ・構成や表現の効果について考える。 ・構成で工夫されていると思う点を話し合う。 ・筆者の思いや考えが伝わる表現について、「どう書かれているか」に着目して表現の効果を考える。 ・自分が考える表現の効果について語り合う。 ・自分が注目した表現とその効果について、考えたことをグループで語り合う。 評価基準 ●心情を表す語句や表現に着目し、感じたことを言語化している。 ●本文中の具体的な記述を挙げながら、構成の工夫や表現の効果について考えている。 ●進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習したことを生かして筆者のものの見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。	1 2 3	・ワークシート ・単元テスト
		構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	5	・随筆の題材を選び、具体的な材料を書き出し、構成を考える。 ・随筆を書く。 評価基準 ●事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ●「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ●「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ●粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	1 2 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
2		漢字 3 漢字の成り立ち	1	・漢字の成り立ちについて理解する。	1	・ノートまたはワークシート

月 3 月		漢字に親しもう		・漢和辞典を利用して練習問題を解き，漢字の成り立ちを調べ，分類する。 ・「漢字に親しもう」の問題に取り組む。 評価基準 ●小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ●学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	3	・単元テスト
		一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ，発表する	5	・観点を決め，一年間の学習を振り返る。 ・集めた情報を整理し，発表内容を決める。 ・話の構成を考え，フリップを作る。 ・グループ内で発表する。 評価基準 ●音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。 ●比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。 ●「話すこと・聞くこと」において，相手の反応を踏まえながら，自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ●「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。 ●集めた材料を積極的に整理し，今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ，発表しようとしている。	1 2 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
3 月		ぼくがここに	2	・詩を読み，印象に残った表現を発表する。 ・三つの表現の意味を考える。 ・作者の思いについて語り合おう。 評価基準 ●比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ●「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものになっている。 ●文章を読んで理解したことに基づいて，積極的に自分の考えを確かなものにし，考えたことを伝え合おうとしている。	1 2 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト
	振り返り	学習を振り返ろう	3	・説明文を読み，学習課題に取り組む。 ・方言に関するスピーチを聞き，学習課題に取り組む。 ・卒業ソングに関する新聞記事を読み，学習課題に取り組む。 評価基準 ●比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。 ●共通語と方言の果たす役割について理解している。 ●「読むこと」において，文章の中心的部分と付加的部分，事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え，要旨を把握している。 ●「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものになっている。 ●「話すこと・聞くこと」において，相手の反応を踏まえながら，自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ●「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ●今までの学習を生かして，それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。	1 2 3	・ノートまたはワークシート ・単元テスト

	書写		3	・ 楷書と行書の違いを理解する。 評価基準 ● 楷書と行書の違いを理解して書くことができる。	1	作品